

平成30年度高齢者生きがづくり・生活支援活動人材育成事業
支え合いの仕組みづくりを考えるフォーラムが終了しました！

基調講演では、少子高齢化社会の課題と誰もが自分らしく暮らし続けていくことのできる地域となるよう、一人ひとりができることから始め、困っている人がいたら手を差し伸べながら日々の暮らしにおいてできることを増やしていく大切さを学びました。

事例提供・パネルディスカッションでは、先進的な活動を行っている高崎市と八王子市から代表者をパネリストに迎え、DVD上映や写真等で活動の様子をわかりやすく発表して頂きました。講師・パネリストの人柄、行動力、発想力に感銘を受け、地域の支え合いの大切さを実感し、参加者の8割以上が今後担い手として生活支援活動に関わってみたいと感じたフォーラムでした。

(この事業は高齢者の生きがづくり・生活支援活動に参加する担い手を養成するため、県の委託を受け実施しています。)

村山会場 日時：平成30年7月21日(土)13時～17時00分

会場：遊学館第1研修室

参加者96名

庄内会場 日時：平成30年7月22日(日)13時～17時00分

会場：庄内町余目第3公民館研修室

参加者70名

基調講演「住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けるために」

講師：服部 真治氏 ((一財) 医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構 研究部主任研究員 兼 研究総務部次長)

パネルディスカッション「シニアが主役！地域共生社会の推進のために」

ファシリテーター：服部 真治氏

パネリスト：目崎 智恵子氏 (高崎市第一層生活支援コーディネーター)

辻野 文彦 氏 (八王子市福祉部高齢者福祉課主査)